

2020年5月14日

## カラープロダクションプリンター「RICOH Pro C5310S/C5300S」を新発売 ～生産性と画像品質、用紙対応力を強化し、POD印刷の幅広いニーズに対応～

株式会社リコー（社長執行役員：山下良則）は、プロダクションプリンター「RICOH Pro シリーズ」のカラー機の新製品として「RICOH Pro C5310S/C5300S」を発売します。

新製品は、2017年1月に発売した「RICOH Pro C5210S/C5200S」の後継機種として発売します。従来機に比べ、生産性や画像品質、用紙対応力を強化しました。厚紙の生産性を強化し、最大256g/m<sup>2</sup>の厚紙をカラー/モノクロともに80ページ/分(A4ヨコ)で出力することができます\*1。スキューやレジスト精度を向上する機構を新たに本体と中継ユニットに搭載し、従来機よりも高い表裏見当精度を実現しました。用紙対応力を強化し、52.3～360g/m<sup>2</sup>の全紙厚の自動両面印刷に対応\*2したほか、新たにノーカーボン紙の出力に対応(オプション)しました。また、最大5,000枚の給紙を可能とするエアピック式A3LCT RT5120を始めとした、プロダクションプリンター製品ラインアップの上位機種\*3で提供している各種給排紙オプションへの対応を拡充しました。これらにより多彩且つ効率的な印刷物の制作が可能になり、印刷業におけるプリントオンデマンドビジネスの可能性を広げます。

さらには、複合機や電子黒板、カメラなどのエッジデバイスを、クラウドプラットフォーム「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」を介して各種クラウドサービスと組み合わせ、オフィスワークの自動化・省力化を推進する「RICOH Intelligent WorkCore」への対応を拡充しました。プロダクションプリンターの画像品質、用紙対応力と合わせて、オフィス内における働き方改革と販促物の内製化を同時に実現します。

商用印刷を手がける印刷事業者様や企業内の販促物制作ニーズが高いお客様への導入を進めることで、リコーは引き続き、お客様のビジネスをサポートしてまいります。

\*1 RICOH Pro C5310Sのみ。従来機は、最大150g/m<sup>2</sup>までの厚紙が80ページ/分(A4ヨコ)の連続プリントスピードに対応。

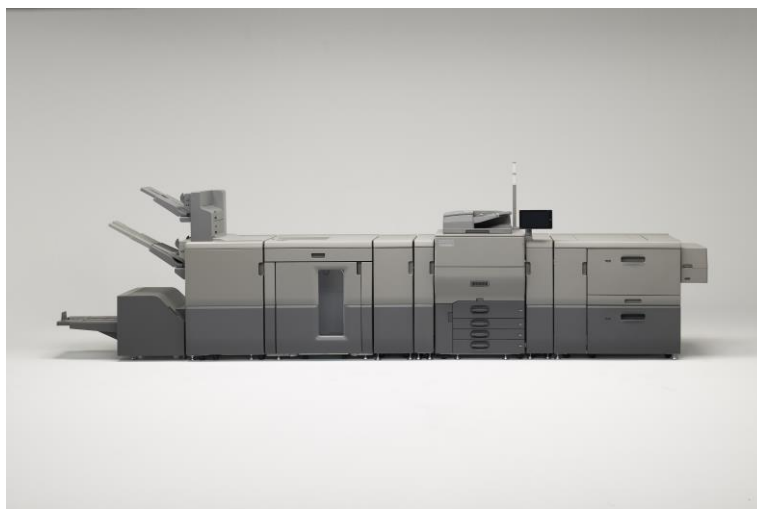
\*2 従来機は52.3～300g/m<sup>2</sup>の自動両面印刷に対応。

\*3 RICOH Pro C9210/C9200、RICOH Pro C7210S/C7200S、RICOH Pro 8320S/8310S/8300S。

製品名	RICOH Pro C5310S	RICOH Pro C5300S
連続プリントスピード(カラー/モノクロとも)	80ページ/分(A4ヨコ)	65ページ/分(A4ヨコ)
コピー・プリンター・スキャナー機能	標準	
ファクス機能	オプション	
標準価格(消費税別)	6,300,000円	5,100,000円
発売日	2020年6月1日	

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 広報室 TEL：050-3814-2806(直通) E-mail：koho@ricoh.co.jp  
 お客様のお問い合わせ先 リコーテクニカルコールセンター TEL：0120-892-111



RICOH Pro C5310S (商業印刷向けフルオプション装着時)



RICOH Pro C5310S (企業内印刷向けオプション装着時)

### <新製品 RICOH Pro C5310S/C5300S の主な特徴>

#### 1. 高速出力/スキャンを実現し、高い生産能力を発揮

- 厚紙の生産性を強化し、最大256g/ m<sup>2</sup>の厚紙をカラー/モノクロともに80ページ/分(A4ヨコ)<sup>\*4</sup>で出力することができます。短納期への対応が求められるプロフェッショナルな現場で、競争力を高めま
- 1パス両面同時読み取りによる高速スキャンは、最大240ページ/分<sup>\*5</sup>と従来機から向上。大量に印刷物の電子化が求められる現場でも優れたパフォーマンスを発揮します。

\*4 RICOH Pro C5310Sのみ。従来機は、最大150g/m<sup>2</sup>までの厚紙が80ページ/分(A4ヨコ)の連続プリントスピードに対応。

\*5 A4横送り、300dpiまたは200dpi時。

## 2. プロフェッショナルニーズにお応えする高画質/高品質

- ・ リコー独自の技術により、ベタやハーフトーンの濃度をリアルタイムに監視・補正する制御を搭載することで画質の安定性を向上しました。
- ・ 新たにグロスコントロール機能を搭載することで、ユーザーによる印刷画像の光沢度の調整が可能になりました。
- ・ 本体と中継ユニットに、用紙のスキュー・レジストを自動で補正、見当精度を向上する新機構を搭載し、より正確な位置に画像を印刷します。また、スキャナを活用した表裏見当調整機能では、従来手作業で行っていた調整チャートの4隅折り作業を不要にするなど、表裏見当調整作業を簡易化しました。

## 3. プリントオンデマンドビジネスの可能性を広げる用紙対応力

- ・ 紙厚対応力を強化し、52.3g/m<sup>2</sup>から最大360g/m<sup>2</sup>\*6の厚紙までの自動両面印刷に対応しました。
  - ・ 従来対応してきた普通紙やコート紙、凹凸紙、封筒、透明メディアに加えて、新たにノーカーボン紙の出力に対応(オプション)しました。
  - ・ 用紙サイズは90×139.7mmから330.2×1,260mmまで対応。さらにエアピック式A3LCT用 長尺トレイに対応することで、700mmまでの長尺コート紙の連続印刷が可能になりました。
- \*6 従来機は52.3～300g/m<sup>2</sup>の自動両面印刷に対応。

## 4. 業務を効率化する多彩なオプション

- ・ 最大5,000枚(2,500枚×2段)の給紙が可能で、ノーカーボン紙などの薄紙から最大360g/m<sup>2</sup>の厚紙まで多彩な用紙の給紙を可能にするエアピック式A3LCT RT5120に対応しました。
- ・ 3500枚フィニッシャー SR5120に対応することで、2段のシフトトレイによるリミットレスでの排紙が可能になりました。また中綴じ出力時の生産性を向上しました。
- ・ 大量出力をサポートする、5,000枚収容可能な台車付きスタッカー 5000枚スタッカー SK5040に対応しました。
- ・ 2段インサーター インサートフィーダー CI5040に対応し、コート紙の合紙挿入も可能になりました。

## 5. クラウド対応による拡張性を強化

- ・ 複合機や電子黒板、カメラなどのエッジデバイスを、クラウドプラットフォーム「EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES プラットフォーム」を介して各種クラウドサービスと組み合わせ、オフィスワークの自動化・省力化を推進する「RICOH Intelligent WorkCore」に対応します。Dropbox、Google Drive™、OneDrive®などのクラウドストレージ連携サービスやWebアドレス帳との連携サービス、AI機能を搭載したOCRサービス、さらにそれらを組み合わせ、お客様の業種業務に対応したさまざまなソリューションを提供します。

※Dropbox は、Dropbox, Inc.の商標です。

※Google Drive は Google LLC.の商標です。

※OneDrive は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※その他、ニュースリリースに掲載されている社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

---

## ｜ リコーグループについて ｜

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2020年3月期リコーグループ連結売上は2兆85億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <https://jp.ricoh.com/>